

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2018-69693

(P2018-69693A)

(43) 公開日 平成30年5月10日(2018.5.10)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
B29C 43/34 (2006.01)	B29C 43/34	4F071
C08K 3/04 (2006.01)	C08K 3/04	4F204
C08L 101/00 (2006.01)	C08L 101/00	4F207
C08J 5/18 (2006.01)	C08J 5/18 CER	4F210
B29C 47/14 (2006.01)	C08J 5/18 CEZ	4J002
審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 11 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号 特願2016-215893 (P2016-215893)

(22) 出願日 平成28年11月4日 (2016.11.4)

特許法第30条第2項適用申請有り 掲載年月日 平成
28年5月10日 掲載アドレス [https://a
kita-pu.repo.nii.ac.jp/](https://akita-pu.repo.nii.ac.jp/)

(71) 出願人 306024148

公立大学法人秋田県立大学

秋田県秋田市下新城中野字街道端西241
-438

(74) 代理人 100184767

弁理士 佐々 健太郎

(74) 代理人 100098556

弁理士 佐々 紘造

(72) 発明者 邱 建輝

秋田県由利本荘市東町64-22 県職員
本荘東町公舎2-203号

(72) 発明者 境 英一

秋田県由利本荘市中梵天5-3 県職員本
荘出戸町公舎203号

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 圧延加工による導電性高分子複合材料の製造方法およびその成形方法

(57) 【要約】

【課題】圧延によるカーボン系フィラーを添加した高い機械特性と導電性を兼備する樹脂複合材料の製造方法を提供する。

【解決手段】熱可塑性樹脂とカーボン系導電性フィラーの混合物において、カーボンフィラーの添加総量を1~20wt%に調整し、圧延加工温度が室温~融点(或いは軟化点)以下20で、圧延率が10~80%の条件で圧延することによる導電性樹脂複合材シートの製造方法である。表面抵抗率が $10^{11} \sim 10^0 \Omega / sq$ の導電性樹脂複合材シートが得られる。カーボン系導電性フィラーとしては、導電性カーボンナノチューブ、熱可塑性樹脂としては、ポリ乳酸などの生分解性樹脂を用いることができる。

【選択図】なし